

森岡地区拠点施設基本構想・基本計画 第4号 かわらばん

整備計画検討会③

「描こう！地域の拠点
～思いをカタチに。デザインゲーム～」

開催日時：7月26日(土) 9:30～12:00
@森岡小学校 視聴覚室

今後の予定

済 講演会	10/13(日)	事例に学ぼう！
済 DAY1	11/4(月祝)	まちの魅力を再発見！
済 DAY2	2/8(土)	物語をつくろう！
済 DAY3	7/26(土)	描こう！地域の拠点

7月26日土曜日の午前、森岡小学校視聴覚室で、整備計画検討会③「描こう！地域の拠点～思いをカタチに。デザインゲーム～」を開催しました。真夏の照りつける太陽のもと、小中学生を含む 25 名の方にご参加いただきました！

整備計画検討会②等のふりかえりや事例紹介を受けたあと、妄想絵カードづくりとして整備後のイメージや風景をイラストにしました。その後、プチレクチャーを受けた上で、これまでの検討から見えてきた各スペースがどのように配置されると良いか、敷地が示されたワークシートを使って、森岡地区拠点のデザインゲームを行いました。

1 プチレクチャー

ワークに先立ち、前回の「物語をつくろう！」ワークや既存施設の取組みから見えてきた、森岡地区拠点で想定されるアクティビティと、これを行うのに必要なスペースについて共有しました。そのあと、kumo 一級建築士事務所の望月さんより、ワークに向けたデザインのヒントについて、プチレクチャーをいただきました。



△kumo 一級建築士事務所望月さん

今回のデザインワークに向けて、こんなことを意識してみましょう！
・使う人も周りに住んでいる人も、みんなが幸せになるために。常にポジティブなマインドで考えてみましょう。
・敷地の中だけでなく、周辺のことでも考えてみましょう。「ここに配置すれば、周りの家の人も幸せになれる。」みたいになると良い。
・色々な機能が複合するので、用途×用途で、組み合わせるとどんなことが生まれそうか考えてみましょう。どうやったらこの施設を使いこなすことができるか、一緒に考えてみましょう。

2 グループワーク 「思いをカタチに～地域の拠点デザインゲーム」

ワークの色指定 ▶	■ 小学校(専用)	■ 地域・集い	■ 広場、屋外空間	▲ 校門・建物入口など
	■ 小学校(特別教室)	■ 体育館	■ 駐車場	→ 動線(人や車など)
	■ 子ども・支援	■ 保育園(専用)	■ フリー、提案、想いや工夫など	■ 共有ゾーンなど

A 令和だヨ！ 全員集合



B みんなの 楽しい思い出



※記載の道路・敷地は検討中のものであり、決定したものではありません

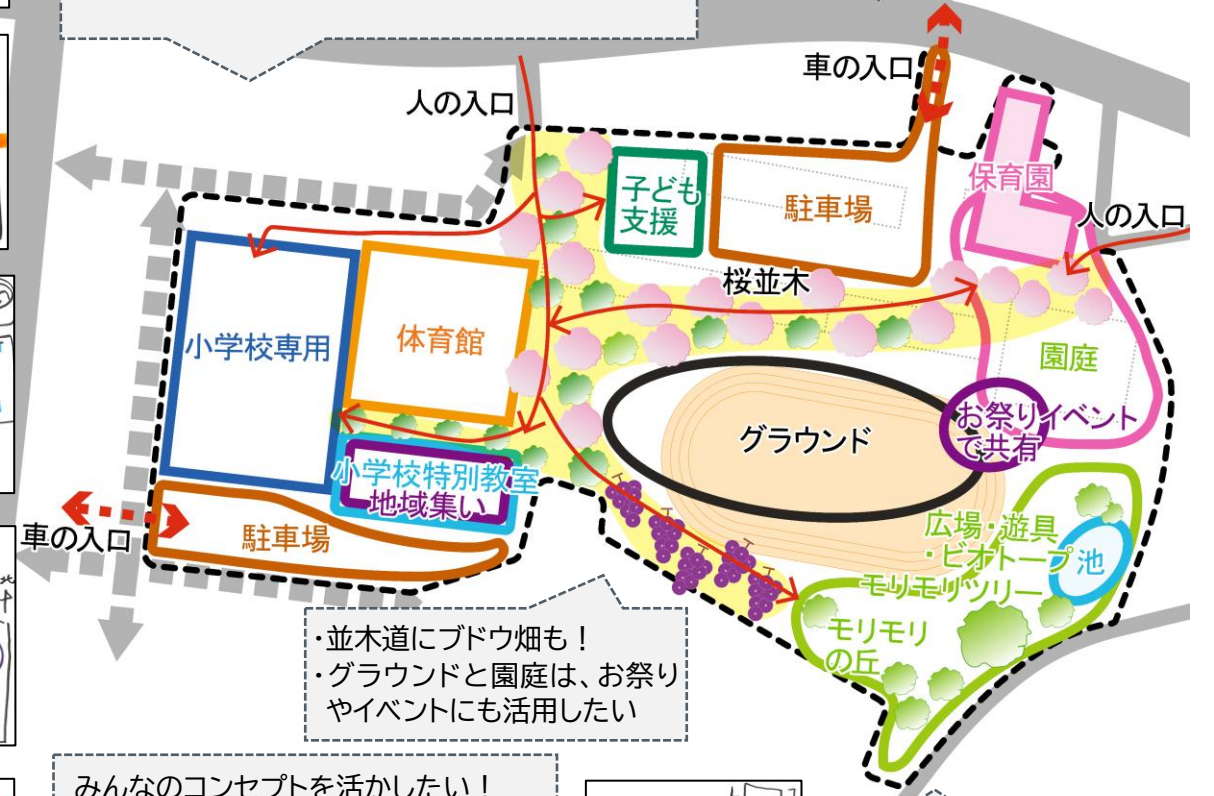
- ・運動場の横に児童館を配置しつつ、観戦スタンドを配置
- ・子どもたちの運動会等の競技の観戦もできる



・保育園近くに駐車場を設け、車が入れるようにすることで送迎を便利に！

- ・テーマ「モリモリタウン」にちなんだ森を作り、畑スペースも設ける
- ・区画整理も想定して敷地右下に通用口を設け、子どもたちの通学や、地域の人たちも散歩で通ることができる通路を配置

- ・安全のため、人と車の歩車分離
- ・2か所の“人の入口”をつなげて桜並木を！
- ・車の入口は、1か所は保育園・子ども支援の近くに、もう1か所は小学校の近くに配置



- ・並木道にブドウ畑も！
- ・グラウンドと園庭は、お祭りやイベントにも活用したい

みんなのコンセプトを活かしたい！

- ・景色を生かした開放感のある拠点
- ・まち中の学校、学校の中のまち
- ・森岡ならではのもりもりの丘
- ・高低差を活かし段差を利用した建物
- ・丸・三角・四角のような自由な空間

- ・シンボルツリーである「モリモリツリー」を中心に！
- ・ビオトープもあると良い



○ひとことアンケートより

建築物ではなくもっと広い視野で考えるのがとてもおもしろかった。/実際の地図上で構成を考えることで、考えがいろいろできて楽しかった。/将来に残したいもの、新しく作りたいものが共通している点が多く感じました。/今後施設を使うのは学生や子どもたちになるので、そういった世代の声を大切にしていこうと考えは継続していきたい。/今まで知らなかった森岡地区のことを知れた。/複合施設を作っても誰も使わない建物にならないように行政や多世代の住民が集まって話し合うことの大切さがわかった。 など

お問合せ：
東浦町役場 財政経営課 施設再編係
TEL :0562-83-3111
Mail:zaisei@town.aichi-higashiura.lg.jp